

おじぎ草だより

第1号



ひきこもりは表面化しづらく、改善に向けての相談場所も思うようありません。そうした中で、今現在ひきこもりの子どもを持つ家族が必要にかられて、岡崎市で立ち上げた会です。理解の難しい「ひきこもり」と向き合うために、ご家族の方が気軽に集えて話せる場所を作りました。またご本人も、自由に安心して話せる場所を、家族とは別の日に用意しました。不登校の方の中には「ひきこもり状態」の方もおられます。私たちは、話の出来る場所・自由な居場所を大切にしています。

ご家族が話せる
交流できる場所

毎月 第3金曜日


ご自宅にいるご本人や
経験者の居場所

毎月 第4金曜日

場所：岡崎げんき館（市民活動室又は和室） 時間：午後1時～3時（入退室自由）
参加費：100円（第4金曜日は不要） 申し込み不要・自由参加

場所は変更になる場合がありますので、ホームページ又はお電話でご確認をお願いします。

おじぎ草での取り組み

- 
- ・集いの場
 - ・講演会や説明会
 - ・ひきこもりの理解を深め、現状を伝えるギャラリー展示



間伐で出た木を頂くために、山へ行きます。
自然の中は気持ちがいいよ。



薪を割ったり、古民家で交流会を開いたりしています。

自分の好きなことを好きなようにして過ごしませんか。



支援者の方の畑で、野菜作りと収穫、花を育てたり、物づくりをしたり…

手作りの小屋もあります。自由な発想で過ごしてみませんか。

おじぎ草のあゆみ（活動記録）

H28. 2 ひきこもりを考える会
ゲートキーパー「おじぎ草」立ち上げ

H28. 2～ メンバー勉強会

- ・発達障がいについて
- ・ストレスについて
- ・B型作業所見学
- ・自助グループ見学
- ・西尾市保健所家族会見学
- ・他団体の講演会・研修会に参加 等



H28. 9
むらさきかんフェスタ参加
(ポスター展示)



H29. 2
マッチング in
第6回岡崎まち育てフェスタ参加

H29. 5 障害年金説明会

岡崎・安城障害年金相談センター
安藤貴文氏



H29. 7 講演会

「ひきこもり」って何？
家族・周囲ができることとは

三河病院理事長・精神科医師
大賀 肇先生



H29. 9
むらさきかんフェスタ参加 (ポスター展示)

H29. 10
よりなん感謝祭参加 (ポスター展示)

H29. 12 講演会

「親の変化と子どもの成長
— 家族会の果たし役割を考える —」

KHJ 全国ひきこもり家族会連合会
NPO 法人なでしこの会
田中義和理事長



H30. 3 研修会

ひきこもりの子を抱える
「親の心構え」を振り返る

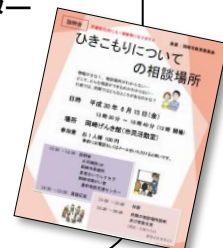
臨床心理士 小嶋麻乃先生



H30. 6 ひきこもりについての相談場所 説明会

三河病院・岡崎市保健所
岡崎「若者おいでんクラブ」
岡崎市障がい者基幹相談支援センター

民間の支援場所
NPO 法人 共生社会推進協議会
就労継続支援 B 型事業所
訪問支援(作業療法士) 等



H30. 8 ひきこもり家族交流会

- ・ひきこもり経験者のご家族の話
- ・交流会



ギャラリー展示 (ポスター展示)

- H29.6 東部地域交流センター・むらさきかん
- H29.8 南部地域交流センター・よりなん
- H29.10 地域交流センター六ツ美分館・悠紀の里
- H29.12 西部地域交流センター・やはぎかん
- H30.6 岡崎市図書館交流プラザ(りぶら)
- H30.8 西部地域交流センター・やはぎかん
- H30.8 南部地域交流センター・よりなん



ひきこもり(不登校)からの一歩



私が変わることで見えてきた子どもの変化

不登校(ひきこもり)経験の子を持つ母

息子の様子がおかしくなってきたのは、保育園の時でした。

「頭が痛い休む」と言うようになりました。保育園の方ではすぐズル休みととらえ、無理をしてでも登園するよという動きになりました。私も全く疑うことなく保育園と同じ考えで動いていました。今思うと、ここから間違いが始まったのではないだろうかと思うことがあります。(もっと息子の話に耳を傾けていたら...)と後悔することもあります。

息子は小学生になると断続的に休むようになり、高学年になると殆ど学校へ行かなくなり中学校も同様でした。そんな息子に変化が見られたのは中学3年生の頃、引っ越しをし今までより狭いアパートに住むことになり、息子との距離がとても縮まり、私の中にも耳を傾けようという気持ちが湧き、行動に移すことができるようになりました。

現在、息子は高校2年生ですが、皆勤で通学しています。私の中には今だに(また不登校になってしまったらどうしよう)という不安があります。しかし、その気持ちを息子に伝えるようにしています。(一方的でなく会話の中で)



第三者(作業療法士の方との出会いで)

ひきこもり2年経験の息子の母

19歳になる息子。今はアルバイトをしているが、このような日が送れることを喜んでいる。高校2年。遅刻することが続く。もともとネットゲームにはまっていたが、朝起きられないまでやるように。中間テストが受けられず、高校から心療内科の受診を勧められ、二人で病院へ。その時、精神保健福祉士の方が息子の想いを聴いてくれた。2、3度一人で通院したが行かなくなり、私一人で受診するよように。そんな時、精神保健福祉士の方が、作業療法士の方を紹介してくれ週一回30分自宅に来ていただくことに。本人はゲームをしていて、様子を見ながら声かけをする感じで、本人の負担がないようにかかわってくださる。そのおかげで自然と心が開けていく。私自身は、日々の本人の様子を書いたノートを見ていただき、その日の様子とともに後日ラインでコメントをいただく。私はその方に会えたことを「一歩進めたね」と誉めることができた。このような積み重ねが本人の自信に繋がっていった。

その後、えびの飼育を始めた。作業療法士の方との話も、えびの話をするようになった。そして、気づかず言っていた、私がえびのことで褒めたりすることが、本人を認めることになるかと教えていただいた。助けてくださる方がいるから、子どもに余裕をもって接し、子どもに寄り添えるようになった。心の支えができたことに感謝しています。まだ、道半ばですが、親を支えてくださる方がいると子どもも安心できることを実感しています。



知的障がいを伴う自閉症の不登校経験者のご家族の話もお聞きになりたい方は、お問い合わせください。

Home

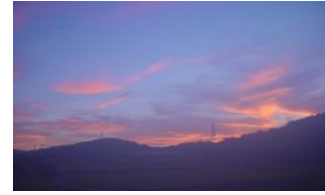
自宅での過ごし方はいろいろ



オンラインゲーム



陶芸



空…



一針一針丁寧に縫い上げた
革製の財布



爪楊枝より小さいバイオリン



折り紙一枚で、
いろいろな花が作れます

子どもがひきこもり状態になると、多くの方が目の前の子どもの姿が見えなくなり、家から外に出て学校に行くこと・仕事に行くことだけに目標を定めてしまいます。視野狭窄になり、自由な選択ができなくなります。親も子ども外に出られない時間をどう過ごすか。自分のしたいことは何か。何ができるのか。HOMEでは、個性を大切にしています。楽しい気持ち、嬉しい気持ち、辛い気持ち…今のありのままのあなたを、言葉や写真などで伝えてください。川柳、ポエムも大歓迎です。募集中(*^_^*)

ひきこもりは**病名ではない**ので、ひきこもりを治療する医療機関はありません。発達障がいや二次的障がい(うつ病など)が考えられても、何らかのことで病院にも行けず、更に長期化する可能性もあります。また家族の高齢化により、抱える問題は更に大きくなります。**8050問題**も身近なことと捉え、話し合っていきます。若い親御さんも、高齢になられた親御さんも、それぞれの年代で同じ悩みの糸口を探ってみませんか。そして年代関係なく、さまざまな問題も、皆さんで話し合ってみませんか。一緒に考えていきませんか。(ひきこもり経験者の方や、ご家族のお話も伺わせていただきたいと思います。ご協力をお願いします。)

おじぎ草は、KHJ 全国ひきこもり家族会連合会「なでしこの会」の個人会員となっています。他の支援団体、関連機関との連携も大切に活動をしています。

お問い合わせ先

発行元：岡崎市市民活動団体 ひきこもりを考える会ゲートキーパー「おじぎ草」

<http://ojigisou.okazaki-city.jp>

電話 090-9176-9583 (おおば) メール ojigisou@okazaki-city.jp



活動にご協力いただける方はお気軽にご連絡下さい。

平成 30 年 9 月 11 日

一部改正再発行